



高萩ロータリークラブ

TAKAHAGI
ROTARY CLUB
WEEKLY
国際ロータリー第2820地区
1970年10月30日設

発行
2019.5.1
第49巻
第41号
通巻
2323号

ロータリー月間 今月：青少年奉仕 月間 来月：ロータリー親睦活動 月間

4月21日の例会より

『 2018-2019 年度 地区大会 』

桜吹雪の中、第2820地区の本年度地区大会が、4月20、21日の両日にわたって開催された。

第一日は、水戸プラザホテルにて、午後1時点鐘。夜には、RI 会長代理ご夫妻歓迎晩さん会が20時30分まで、催された。

当クラブからは、地区委員の大高司郎、鈴木直登、沼田操会員と福田文乃会長、大河原浩幹事が列席した。

続いて第2日目は、茨城県民文化センター、いわゆる名称権で「ザ・ヒロサワ・シティ会館」で1900余名が一堂に会し、早朝9時点鐘、まず、国歌斉唱、続いて、タイ王国国歌、フィリピン共和国国歌の演奏を迎え、次に「奉仕の理想」を歌い、本会議を開催した。

この本会議には、早朝6時30分バスで、出発。石君平、石平光、花園、石川、鈴木国男、棚谷、田所、鈴木啓志、今川、小森、そして、初めて参加する平野浩司会員が出席し、今年は、16名の出席となった。

ロータリーの心と力を地域社会へ、

本大会のスローガンは、上記のとおりである。高橋賢吾ガバナーがあいさつで述べているように、「篤い奉仕の心と行動力をもって地域社会へ」というものであるが、そのスローガンが、2日間の大会を通して、具現化された、素晴らしい大会であった。また、高萩ロータリークラブにとっても、数々の表彰、受賞があり、日ごろの実践を振り返る良い機会となった。新入の平野会員を歓迎する、素敵なイベントともなった。



上は、会館前の看板の記念撮影。

高萩 RC は、昨年度、古河東、つくば学園、日立港、水戸東ロータリークラブ等と国際ロータリー会長賞を受賞した。55クラブの中で、連続受賞は2クラブであり、慶祝すべき榮譽である、下は、鈴木直登パスト会長が登壇し、相澤光春 RI 会長代理より、受賞するところである。



月 日	プログラム	担 当	4月21日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
5月 1日	祝日 天皇即位 休会				
5月 8日	地区研修・協議会報告(1)	次年度会長幹事・委員長	30	16	12
5月15日	同上(2)	同上	出席率：59.26%		
5月21日	3団体合同例会	会長・幹事	前々週訂正：77.78%		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505
■URL <http://takahagirotaryclub.web.fc2.com/>
■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：福田 文乃
幹 事：大河原 浩
例 会：毎週水曜日 12:30～13:30
公共イメージ委員：田所和雄 石平光 上田良三 小森勇一
大高司郎 石君平 花園文熙 棚谷 稔 鈴木直登

四つのテスト

言行はこれに
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

国際ロータリー会長賞ほか 受賞 相継ぐ

前掲写真の受賞をはじめ、高萩ロータリークラブは、各種の表彰を受けた。



上は、奉仕プロジェクト部門で、英語スピーチコンテストが地区表彰を受賞、今川隆青少年奉仕委員長が登壇、表彰盾を高橋ガバナーより受け取り、お祝いの握手をしたところである。写真上

続いて、以下の表彰があった。

新ベネファクター表彰 福田文乃会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー表彰
大高司郎 花園文熙
石 君平 棚谷 稔
ポール・ハリス・フェロー表彰
福田文乃 鈴木直登
米山功労クラブ表彰 高萩 RC 15 回目
米山功労者メジャードナー表彰
上田良三
米山功労者マルチプル表彰
沼田 操 大高司郎 花園文熙
長寿会員顕彰 花園文熙

地区大会の進行

2日間わたる大会は、各クラブの会長、幹事が一堂に会し、始めに、ガバナーおよび来賓各位の挨拶に始まり、地区幹事、会計長の報告発表を聞いた。

続いて、核分区の活動、現況報告を聞き、さらに地区の各委員会から、総括委員長が活動状況を発表した。

そして、午後1時より開始された、会議は、4時30分に終了した。

こうして、10か月に及ぶ活動の状況が子細に協議され、本年度の成果と課題が、示されて、残る2か月間の活動への方針と展望が明確にされ、第2日の全体会で、ガバナーより示された。

特別講演と第2日の記念講演

会長幹事会議の終了後、相澤光春 RI 会長代理の特別講演が行われた。

相澤会長代理は、藤沢湘南ロータリークラブ初代会長であり、2013-14年度第2780地区ガバナーであり、その後、第2ゾーンアドバイザー等を歴任している。

講演のテーマは、「奉仕の実践と親炙の心」。インスピレーションになろうという本年度のテーマに直結する、奉仕の実践の中で培われ、学ばれる信条や道徳心について説かれた。

親炙の心とは、親しく交流する中で、自然体で教養をうけるという、中国の孟子が述べた、道徳哲学である。

ロータリーの奉仕が、西欧の実践倫理に基づくものであるとともに東洋の深い英知につながる普遍的な実践であることを明らかにするお話でした。

第2日には、県民文化センターの大ホールで、芸能界で活躍する女優さんでもあり、公益法人「動物環境・福祉協会 Eva」の理事長として、ボランティア活動を実践している、杉本 彩 氏の記念講演が行われた。

テーマは、「人と動物がともに幸せに暮らせる社会の実現に向けて」である。

この問題は、大震災後、また、4年前東京都知事選でも公約に掲げられた、関心の高い、身近な生活の中の見逃ごせない課題であり、ボランティア活動の成果がよくわかる講演であった。



写真上 中央、高橋ガバナーを囲んで、大懇親会

濃密な2日間の締めくくりは、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ライラ、交換留学生の紹介等、日ごろの活動が示された。

当クラブが紹介した、高萩市出身の若いローターアクターのスピーチも素晴らしく、頼もしい感動であった。

こうして、2日間にわたる大会は盛会裏に、無事終了した。午後4時から、特設テントでの最後を締めくくる大懇親会。諸氏の笑顔が大会の成功を物語っている。

祝 令和 令和元年5月1日
新元号をことほぎ、賀し申し上げます